

昌平、県推薦校に

センバツ 21世紀枠 抜群の安定感評価

県高野連と毎日新聞

さいたま支局は16日、来春の第84回選抜高校野球大会(日本高野連、毎日新聞社主催)に向けた「21世紀枠」の県推薦校に、昌平(高校)（杉戸町、城川雅士校長）を選出した。同校の推薦は初めて。

79年創立で、同年創部の野球部には54人が所属する。秋の県大会では左腕・広橋希投手（2年）が活躍し8強入りを果たしたが、準々決勝の春日部共栄戦で、惜しくもサヨナラ負けした。

県高野連は推薦理由について、秋の県大会で6試合を2失点に抑えた点に触れ「抜群の安定感。県内屈指の左腕投手を中心にチームワークも良く、強豪校とも互角に戦える」と

説明。

さらに、同校が専用グラウンドを持たず隣町の公共施設を借りながら練習していること

や、学校の方針で朝練習を行っている中で、毎年好チームを育成していることを高く評価した。

塚本公二監督は「選ばれて光栄。競り負けないチームを作っていく」と語った。

21世紀枠では全国の推薦校から、センバツに出場する3校が、来年1月下旬の選考委員会で選ばれる。

【林奈緒美】

朝 日 新聞 2011年(平成23年)11月15日 火曜日

21世紀枠に昌平 県高野連が推薦

選抜高校野球 県高校野球連盟は14日、阪神甲子園球場で来春開催される第84回選抜高校野球大会の21世紀枠候補校に、昌平を推薦すると発表した。同校は春夏とも甲子園出場経験はないが、秋の県大会でベスト8入りした。

THE YOMIURI SHIMBUN

読 賣 新 聞

2011.11.17

選抜21世紀枠 昌平高を推薦

県高野連は、来春の第84回選抜高校野球大会の「21世紀枠」出場校に、昌平(杉戸町)を推薦すると発表した。推薦理由について「難関大への合格者を輩出する一方で、秋季県大会でベスト8に進出するなど毎年好チームを育成している」などとしている。

21世紀枠として選抜に出場できるのは全国で3校。まずは関東地区8都県がそれぞれ1校ずつ推薦する候補校の中で、地区代表に選ばれることが最低条件。さらに全国9地区の各代表から3校が選ばれる仕組み。出場校の決定は来年1月下旬。